

投げられても、音もなく地上におりることができません。ねこのように身み軽がるになれたらなあ、と四郎は考えたのでした。この「ねことび」が、後の四郎の柔道に大きく役立ちます。

津川町角島つがわまちつのしま

江戸時代から明治時代へ、日本じゅうが新しく変わっていきました。特に、会津の町は、家を焼かれ、人々はちりぢりになって、戦いにやぶれた悲しみにつつまれながら、新しい時代をむかえようとしていました。

そんな会津の片すみの、津川つがわの町に元気に



昔、ここに津川の港があった